



新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科分野ロゴマーク

Sun Ship

消化器臓器は食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓の臓器連関にて消化・吸収・代謝を司るため、消化器内科は消化器臓器を診る

これから太陽が登る
エルメスオレンジ

日本海から世界に発信
(進)するヨット

内科学第ⅢのⅢ



Sun Ship

Sun=太陽、Ⅲ

Ship=船

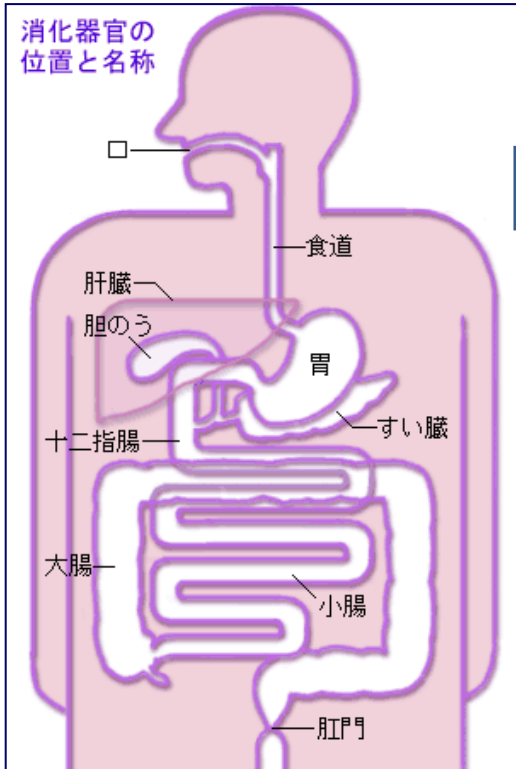
新潟

しんと降る雪
と私たちのラボ

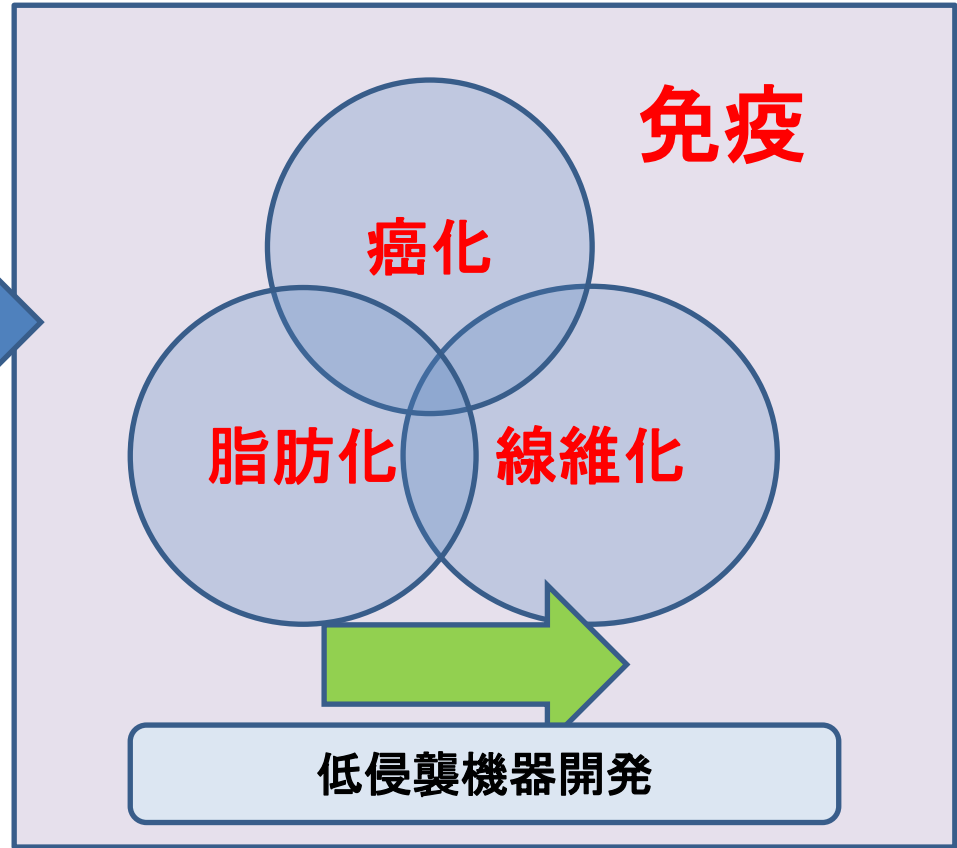


消化器病学の原点は消化・吸収・代謝

消化器臓器は全ての臓器が連動し消化・吸収・代謝を制御



すべての分野がクロストークする



研究コア

消化器臓器の**脂肪化制御**（先制医療技術の開発）

消化器臓器の**線維化制御**（修復・再生療法の開発）

消化器臓器の**癌化制御**（次世代癌治療法の開発）

消化器臓器の**免疫制御**（生体反応の応用治療法の開発）

機器開発（新しい素材を用いた低侵襲治療法の開発）

難治消化器疾患に対する先制医療・展開医療

新しい
発想

ネットワーク

体内時計
多臓器円環

消化

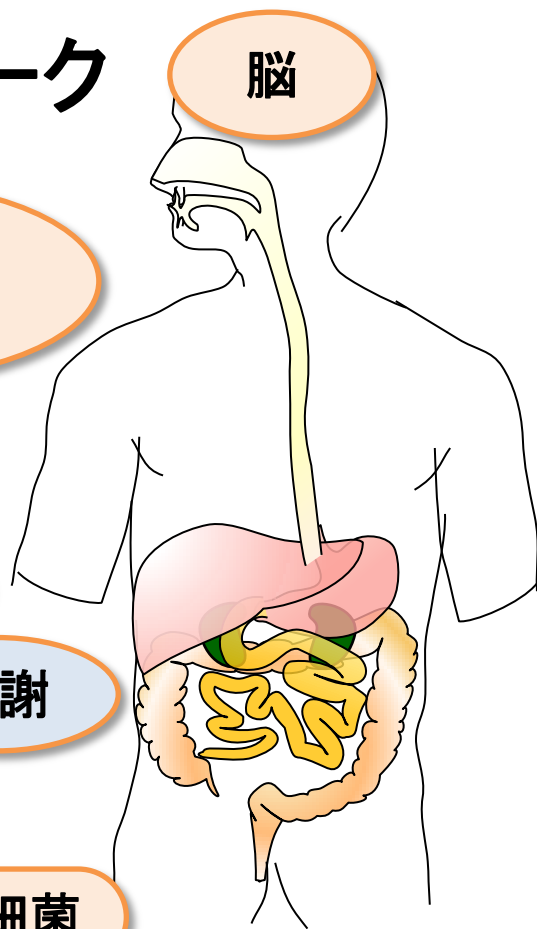
吸収

代謝

腸管センサー

腸内細菌

脳



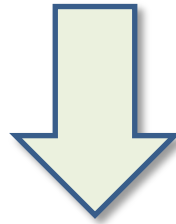
克服すべき
難治の消化器疾患

1. ESD治療後、クローン病、
消化管の狭窄（線維化疾患）
2. 難治癌
進行胃癌、大腸癌、肝癌、
膵癌、胆道癌
3. 炎症性腸疾患
4. 肥満に関連する消化器疾患
非アルコール性脂肪肝炎、癌
5. 診断のつかない病気

診断がつかない病気

診断がつかない難病を、ゲノム、細胞生物学を使い新たに克服する

日々の臨床の中で、丹念の症例をみてまずは**症例報告**



様々な生物学を使い克服する

想像力豊かなClinician-Scientistの育成



消化器内科 臨床・研究体制

臨床チーム

消化管チーム 佐藤 祐一、上部サブチーム 竹内 学、下部サブチーム 横山 純二
肝胆膵チーム 山際 訓、肝臓サブチーム 川合 弘一、胆膵サブチーム 山本 幹

基礎研究 チーム

機器開発チーム 佐藤 祐一、再生チーム 土屋 淳紀、癌チーム 上村 顕也
脂肪化チーム 川合 弘一、免疫チーム 山際 訓

横断的臨床研究チーム

尿のプロテオミクスチーム 高村 昌昭、消化器狭窄解析チーム チーフ 橋本 哲、門脈圧
亢進症解析チーム チーフ 横山 純二、内臓脂肪、骨格筋、腹水解析チーム 上村 博輝
腸内細菌、腸内センサー チーフ 本田 穰、消化器血流動態解析 チーフ 水野 研一
胆膵癌病態解析チーム チーフ 林 和直 肝癌血流治療研究チーム チーフ 横尾 健
POEM(運動) チーフ 佐藤 裕樹

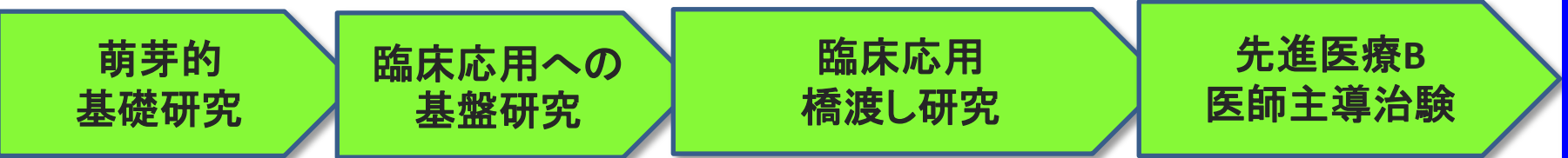
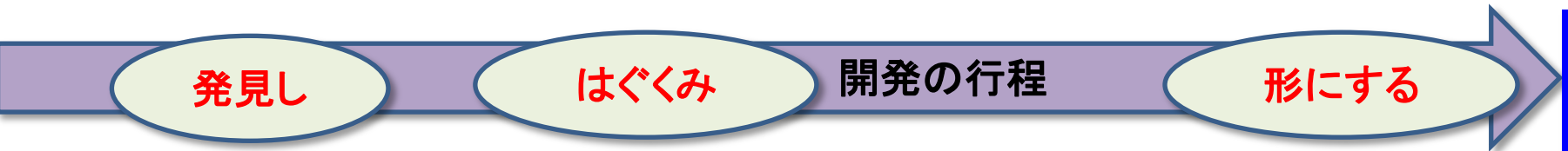
魚沼地区 須田 剛士 特任教授、小林 正明 特任教授

代謝研究チーム 兼藤 努

Interventional Gastroenterology チーフ 森田 慎一

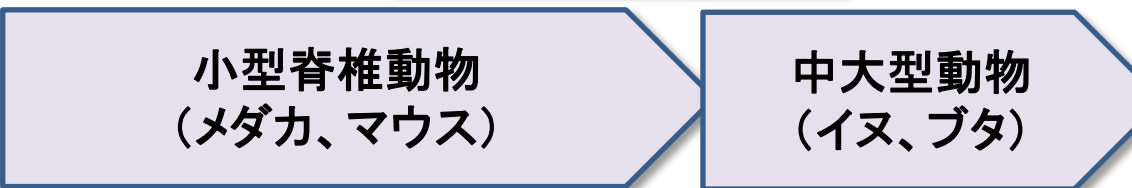


新潟大学発 未来の治療法の開発



日本医療研究開発機構(日本版NIH)

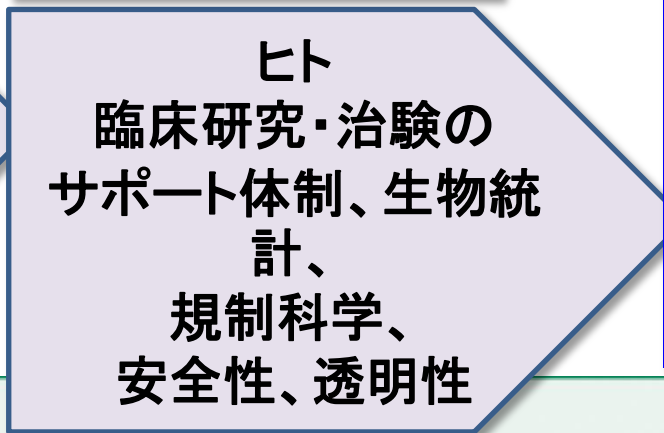
新しいモデル



例1

例2

臨床研究体制



新潟大学発 未来の治療法の開発



新潟大学消化器内科分野の守破離

守

新潟県で様々な疾患をみる中で、幅広く最良の診療を実践する
総合消化器内科医を育成（型の習得、地域を診る医師）

破

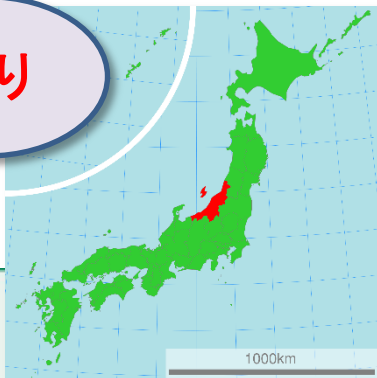
臨床現場にて今治せない病気の問題点を明らかにし
橋渡し研究を行い新潟発・未来医療を開発する
その中でClinician Scientist（型を破る人材）を育成する

離

国内外から多くの医学生、意欲のある研修医
また病で悩む多くの患者が集まる
育成した消化器内科医は新潟県内外の
大学・機関のリーダーになり、さらに世界へ羽ばたく

地域を診る

誇り



世界に冠たる新潟大学



医学を通して
人類の幸福に貢献

国際性

